

全ての先生が大切にしたいこと

～これから、子供たちと共に成長される
初任者、講師の先生方へ～

子供が「わかった」「できた」を感じる授業づくり

45分で確実に力を付けるための「タイムマネジメント」



算数の授業におけるタイムマネジメントについて(例)



自分一人で問題を解くことができるようになって、初めて
「わかった」「できた」を子供は実感できるようになります。

子供が「わかった」「できた」を感じる授業づくり

学習指導要領に基づいて授業を行う習慣を付けましょう！

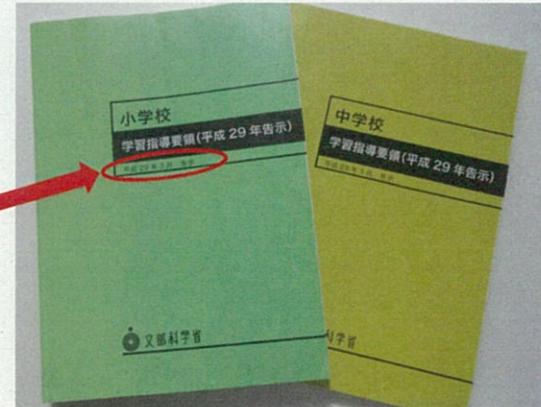
→「学習指導要領」は教師にとって必読書
ブレのない指導力形成への第一歩！

※小学校は、令和2年度
中学校は、令和3年度より
新学習指導要領全面実施

「平成29年3月告示」

各教科等の特質に応じた 「見方・考え方」

- 学びの深まりの鍵となる
- 学校の学びと社会をつなぐもの



児童生徒理解で大切にしたいこと

「見る」「聞く」「認める」



☆見ることは、子供に安心感を与え、力を高める第一歩

☆聞くことは、子供との関係性を築く第一歩

☆認めることは、子供の意欲を育てる第一歩

子供も保護者も安心する関わりの第一歩は、
「見る」「聞く」「認める」

「先生が手本」～教師の言動から子供たちは学ぶ～

先生は、**全ての児童生徒**にとっての「言語モデル」です。

西部地区特別支援学級 指導のポイント ～西部地区的子供たちの力をさらに高めるために～

平成31年2月配信
お役立ち情報

□ 年齢や学年相応の言葉づかいをしている。

～ちゃん ⇒ ～さん ～だよね ⇒ ～ですね
はやくしない ⇒ ○○分までにしましょう

呼名の仕方等は校内で統一することが大切です。

□ 指示は短く、具体的な言葉で伝えている。

筆箱を持って、後ろに並んで、図書室に行きます。
⇒ ①図書館に行きます。②出席番号順に並びます。
③持ち物は筆箱だけです。

指示を板書するなどの視覚化も有効です。

□ 曖昧な表現を避け、できるだけ具体的な言葉で表現している。

だいたい、このくらいです。 ⇒ 縦30cm、横20cm、重さ1Kgです。

具体的な表現を使うことで、思考のプロセスを確認することにもつながります。⇒「思考モデル」

障がい特性に応じた対応をする中で、よりよい「言語モデル」を目指しましょう。

□ 時・場所・状況に応じた適切な言葉づかいを意識している。

来校者と出会った場面で…
・御用件をお伺いいたします。
・校長室でしばらくお待ちください。よろしくお願ひいたします。

□ 指示代名詞を使わず、具体的に話している。

「あれ」「それ」「あそこ」「そこ」
⇒ 体育馆の東側の階段下に集合しましょう。

具体物を使ったり、図にあらわしたりするなど、他感覚に働きかけることも有効です。

□ 声の大きさに気を付けている。

声の大きさの視覚化 (例) 声のものさし

視線を合わせすこと、身振りや表情等も大切です。⇒「行動モデル」

国・県・市町村から学ぶ

○自分から必要な情報を取りに行きましょう！

- ★文部科学省や国立教育政策研究所のホームページや資料から
- ★市町村教育委員会の資料及び研修等から
- ★鳥取県教育委員会のホームページや資料から

リーフレットやお役立ち情報などを掲載しています。ぜひ、参考にしてください。

The screenshot shows the homepage of the Tottori Prefectural Education Bureau. It features a search bar at the top right with the URL <http://www.pref.tottori.lg.jp/seibukyoiku/>. Below the search bar, there's a large banner for 'とっとりの授業改革【10の視点】' (10 Perspectives of Curriculum Reform). To the left, there's a section titled '西部教育局ホームページ' (Western Education Bureau Homepage) with a link to <http://www.tottori.ed.jp>. On the right side, there's a sidebar with links to 'お役立ち情報' (Useful Information), 'お問い合わせ' (Contact Us), and 'お問い合わせ窓口' (Contact Window). At the bottom, there are links to 'リーフレット' (Leaflets) and 'パンフレット' (Brochures).

先輩に学ぶ

○身边な先生方の実践から手法と指導の目的を学びましょう！



分からることはどんどん聞く！



授業を見に行く！



教室を見に行く！

積極的に！
素直に！
謙虚に！

子供に信頼される教師になるために

○「わかった」「できた」を実感できる授業づくり

○児童生徒理解の基本は 「見る」「聞く」「認める」

○教師自らがよりよい「言語モデル」

○素直に謙虚に学ぶ